



Electronics for the Future

決算説明会 2022年度 通期業績

2023年5月10日

ローム株式会社

代表取締役社長 松本 功

- **2022年度通期 業績報告**
- **2023年度通期 発表計画**
- **設備投資の状況**
- **在庫の状況**
- **株主還元**
- **中期経営計画の進捗報告**
- **LSI事業の戦略**
- **パワーデバイス事業の戦略**

2022年度 通期 実績 (修正計画比、前年比)

(単位：億円)

	FY2022 実績	FY2022 修正計画	計画比	FY2021 実績	前年比
売上高	5,078	5,200	▲2.3%	4,521	+12.3%
営業利益	923	900	+2.6%	714	+29.2%
(対売上比率)	(18.2%)	(17.3%)	-	(15.8%)	-
経常利益	1,095	1,050	+4.3%	825	+32.7%
(対売上比率)	(21.6%)	(20.2%)	-	(18.3%)	-
純利益	803	800	+0.5%	668	+20.3%
(対売上比率)	(15.8%)	(15.4%)	-	(14.8%)	-
EBITDA	1,484	1,485	▲0.0%	1,135	+30.8%
(対売上比率)	(29.2%)	(28.6%)	-	(25.1%)	-

期中平均レート(¥/US\$)

(134.95円)

(134.17円)

(112.86円)

期末レート(¥/US\$)

(133.53円)

(135.00円)

(122.39円)

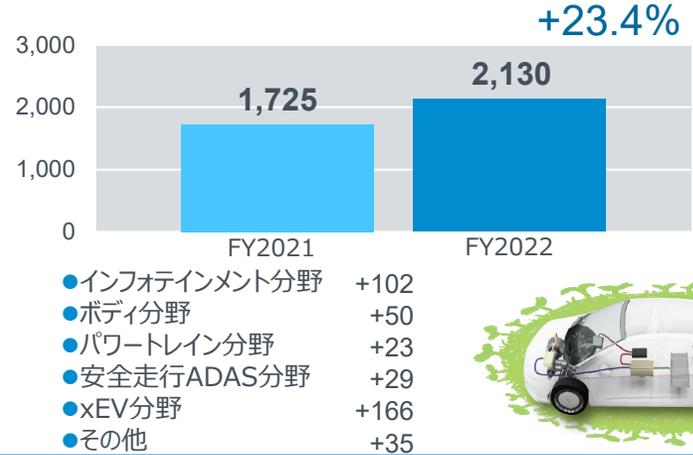
2022年度 通期 市場別 売上の変動要因 (前年比)

(単位：億円)

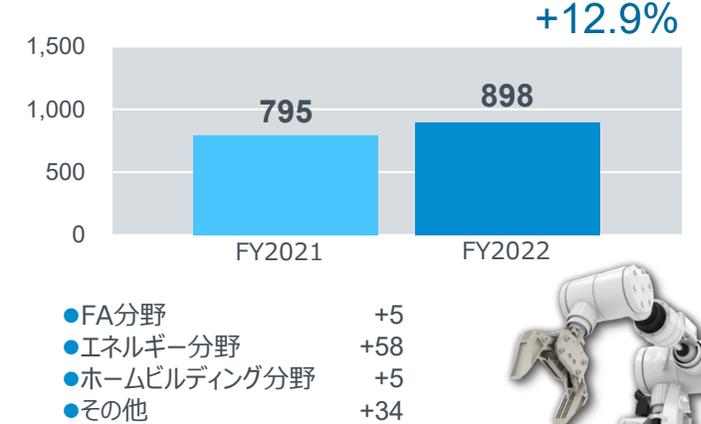
通期売上高



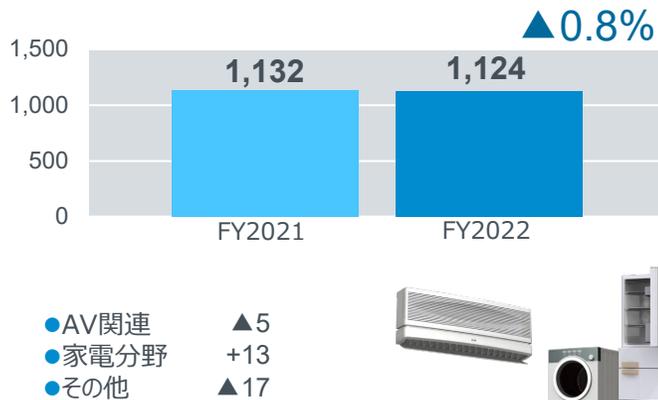
自動車



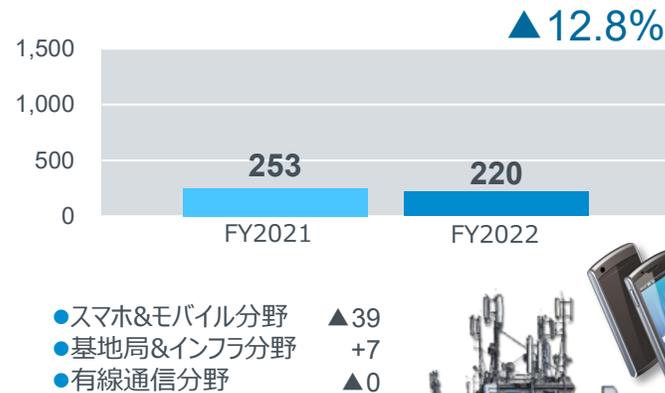
産機



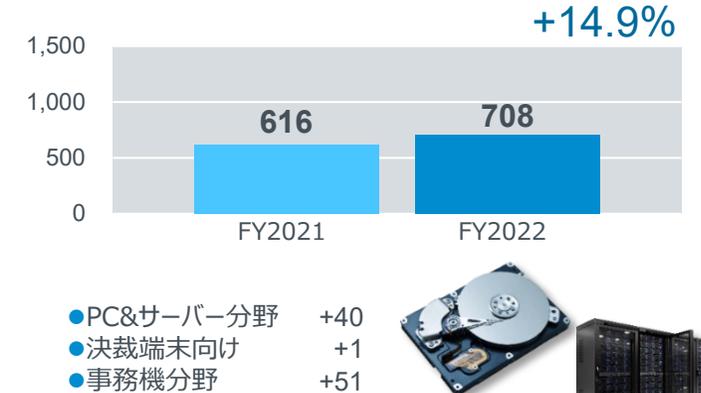
民生



通信

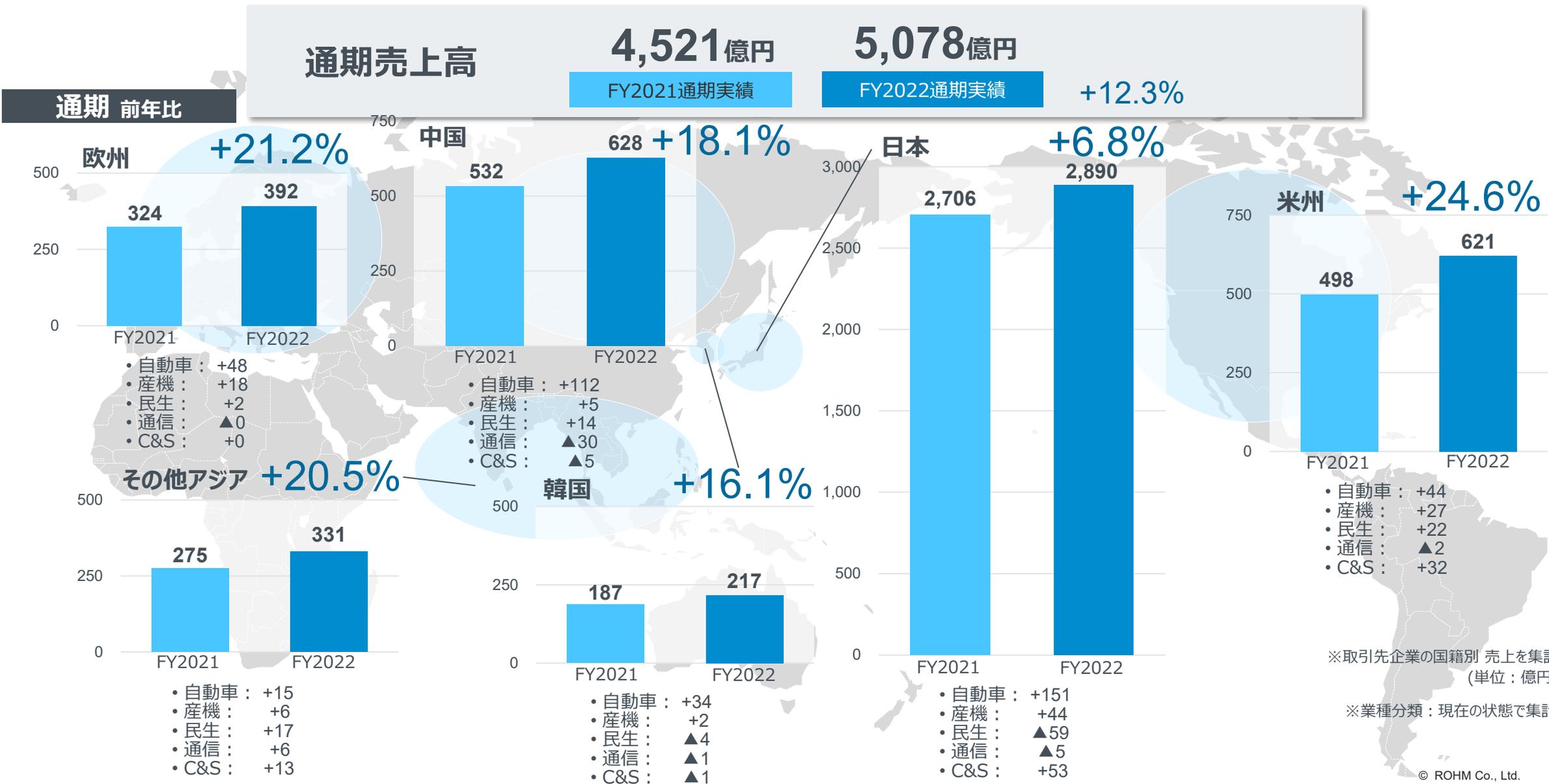


コンピュータ & ストレージ

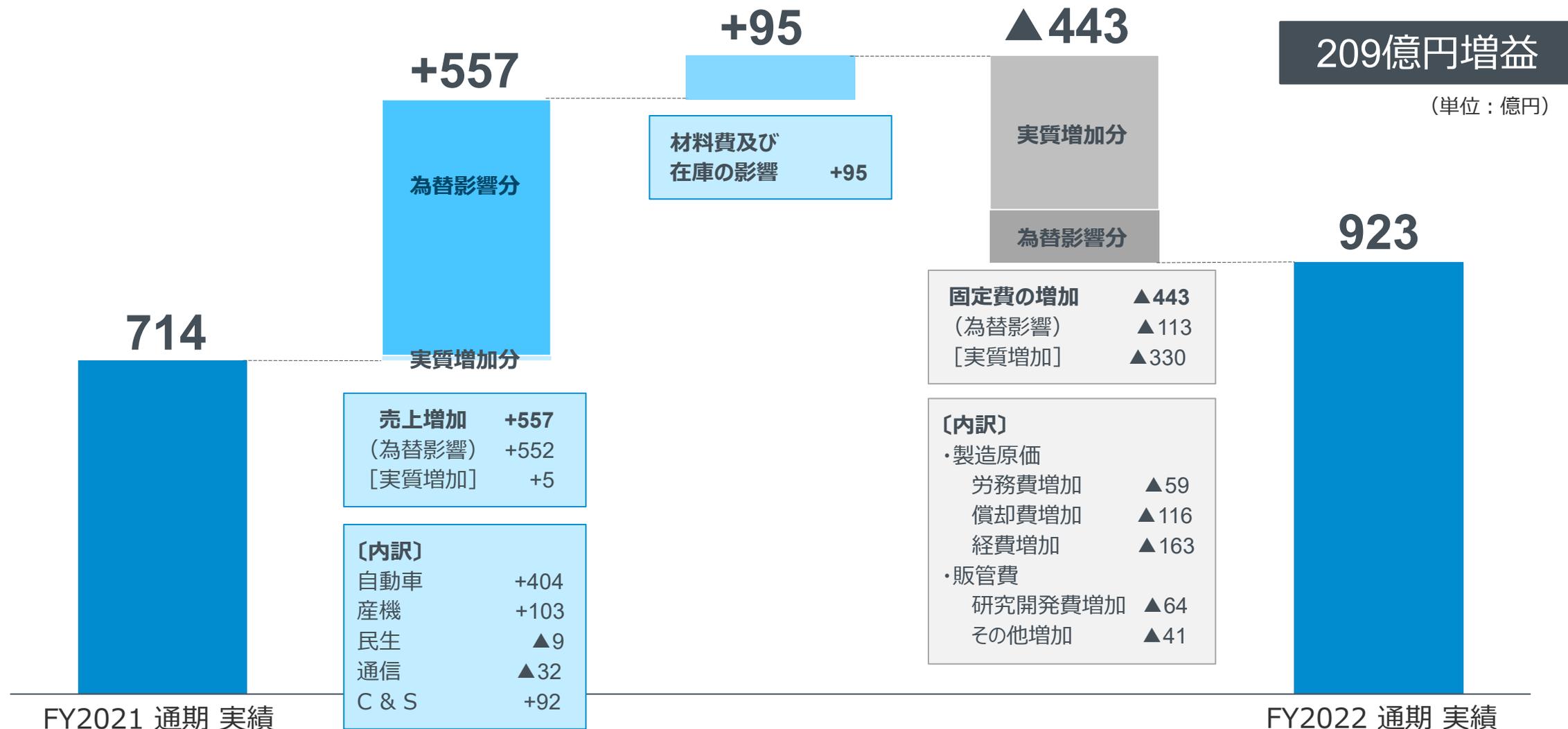


※業種分類：現在の状態で集計

2022年度 通期 国籍別 売上の変動要因 (前年比)



2022年度 通期 営業利益 増減分析 (前年比)



期中平均レート (¥/US\$) **(112.86円)**

FY2022 通期 実績 **(134.95円)**

2022年度 通期 実績 セグメント別 (前年比)

(単位：億円)

		FY2022 実績	FY2021 実績	増減額	増減率
LSI	売上	2,337	2,038	+299	+14.6%
	セグメント利益	481	329	+152	+46.0%
	(利益率)	(20.6%)	(16.2%)	-	-
半導体素子	売上	2,122	1,880	+242	+12.8%
	セグメント利益	345	327	+18	+5.4%
	(利益率)	(16.3%)	(17.4%)	-	-
モジュール	売上	343	328	+15	+4.5%
	セグメント利益	42	44	▲2	▲3.6%
	(利益率)	(12.5%)	(13.5%)	-	-
その他	売上	276	272	+4	+1.1%
	セグメント利益	50	50	+0	+1.4%
	(利益率)	(18.4%)	(18.4%)	-	-

2023年度 通期 計画 (前年比)

(単位：億円)

	FY2023 計画	FY2022 実績	増減額	増減率
売上高	5,400	5,078	+322	+6.3%
営業利益	750	923	▲173	▲18.8%
(対売上比率)	(13.9%)	(18.2%)	-	-
経常利益	870	1,095	▲225	▲20.6%
(対売上比率)	(16.1%)	(21.6%)	-	-
純利益	700	803	▲103	▲12.9%
(対売上比率)	(13.0%)	(15.8%)	-	-
EBITDA	1,590	1,484	+106	+7.1%
(対売上比率)	(29.4%)	(29.2%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$)

(130.27円)

(134.95円)

期末レート(¥/US\$)

(130.00円)

(133.53円)

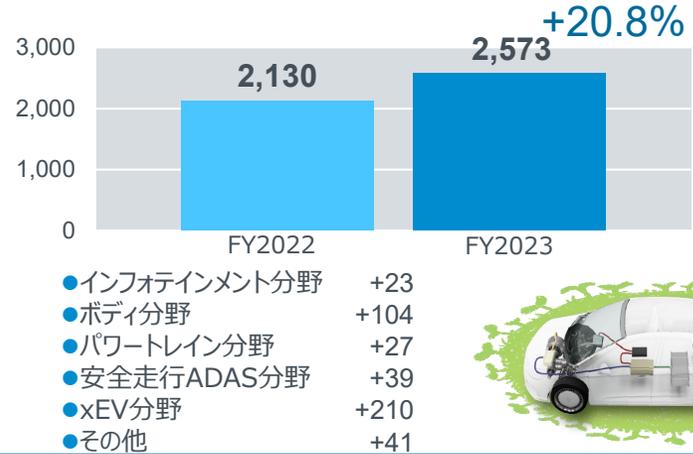
2023年度 通期計画 市場別 売上の変動要因 (前年比)

(単位：億円)

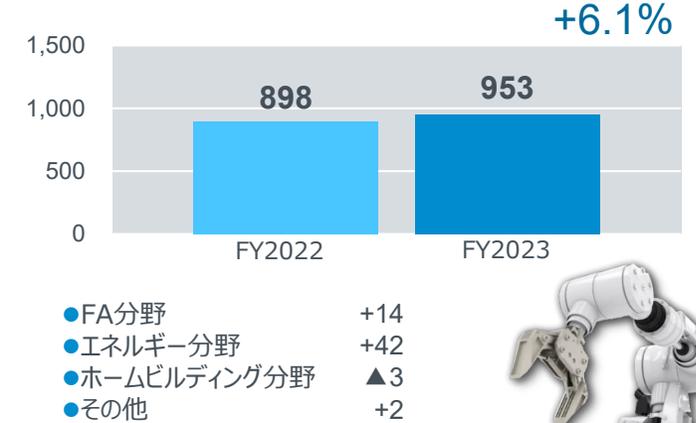
通期売上高



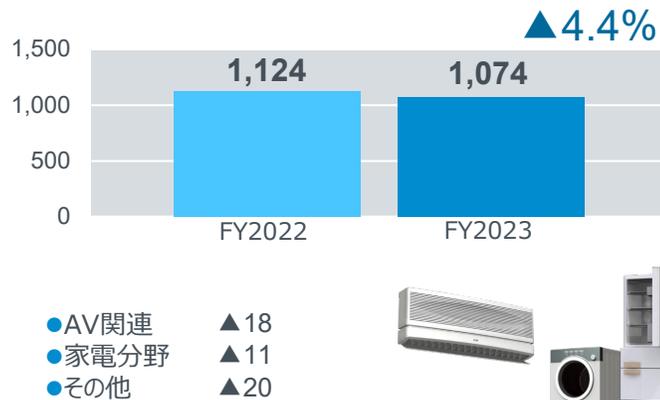
自動車



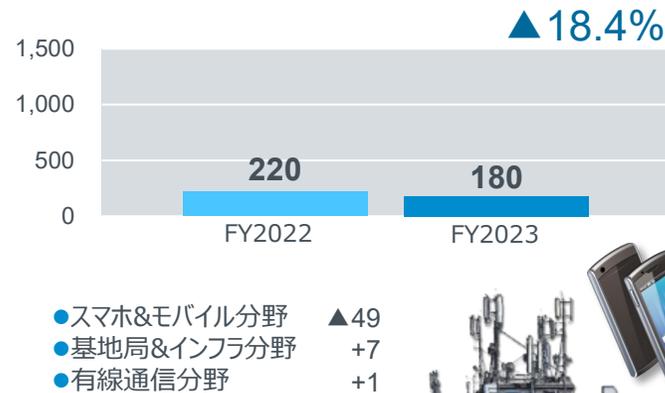
産機



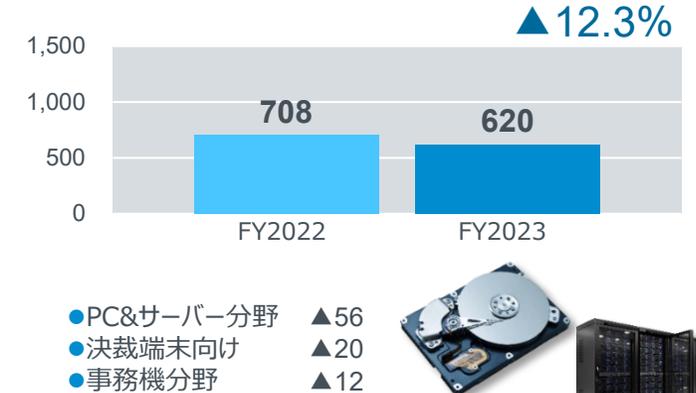
民生



通信



コンピュータ & ストレージ



※業種分類：現在の状態で集計

2023年度 通期計画 国籍別 売上の変動要因 (前年比)

通期売上高

5,078億円

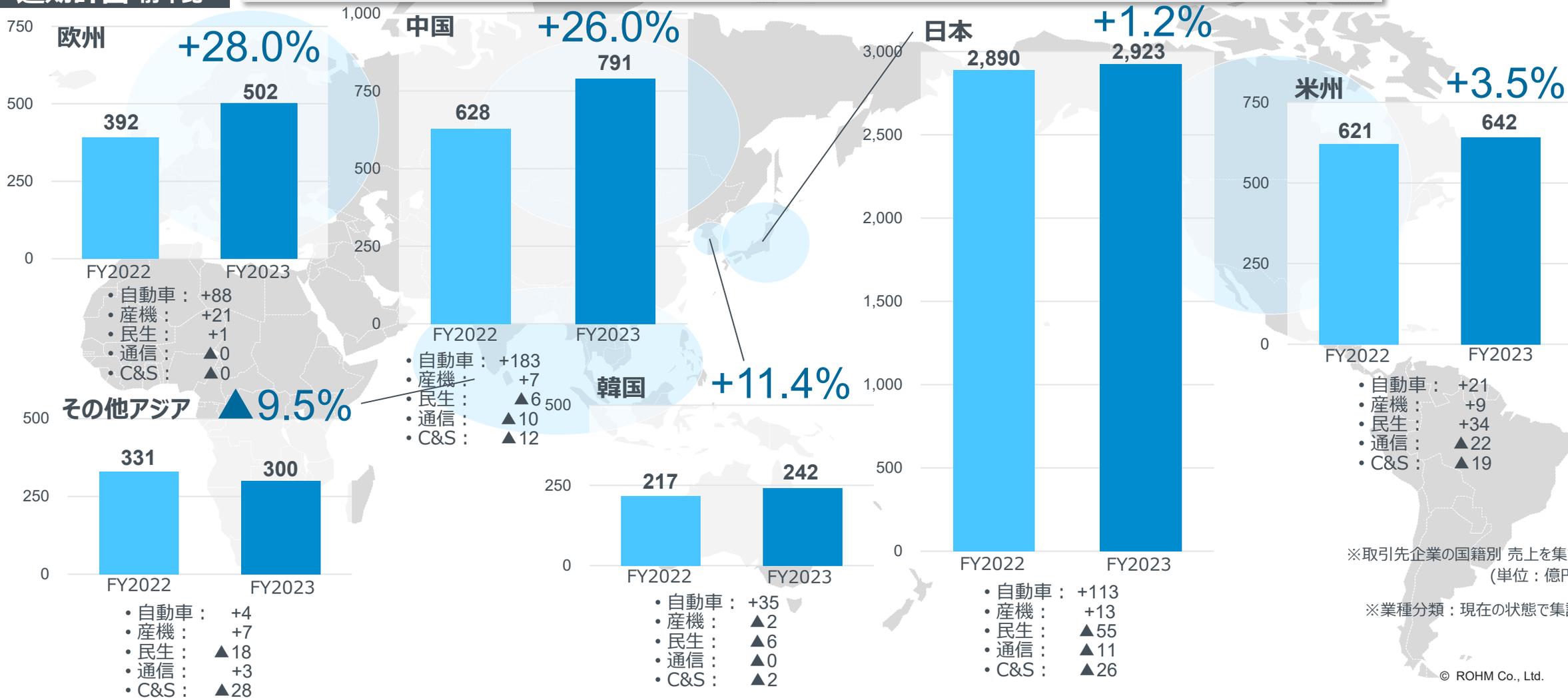
FY2022通期実績

5,400億円

FY2023通期計画

+6.3%

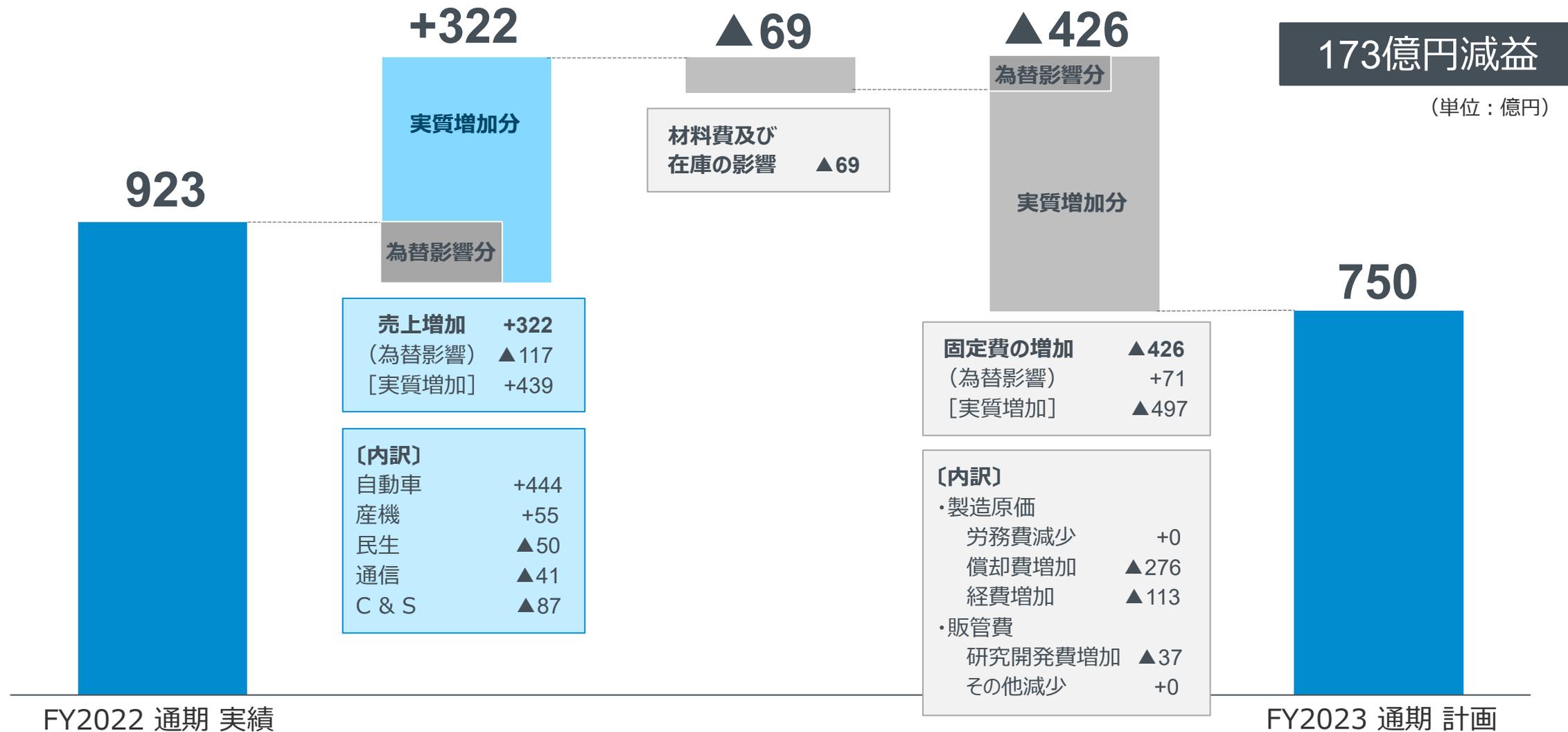
通期計画 前年比



※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

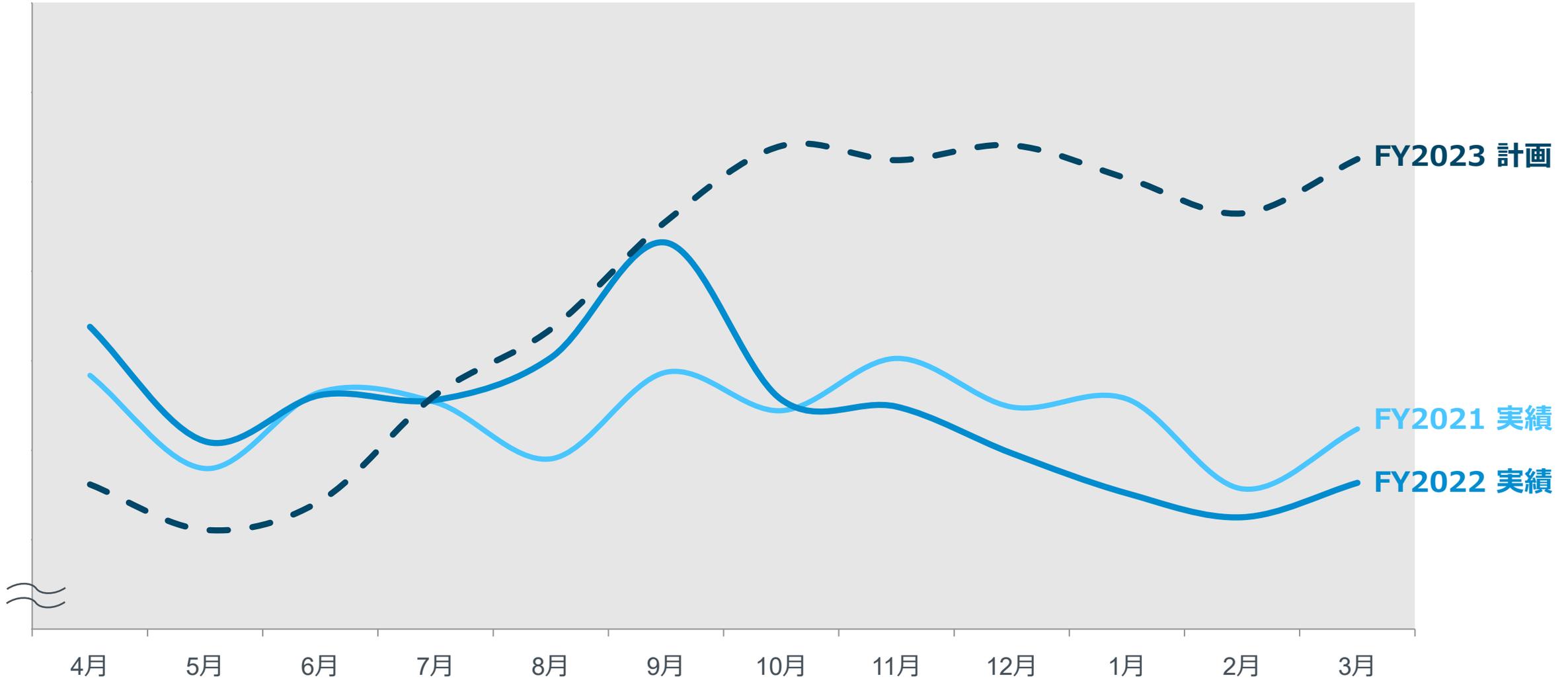
2023年度 通期計画 営業利益 増減分析 (前年比)



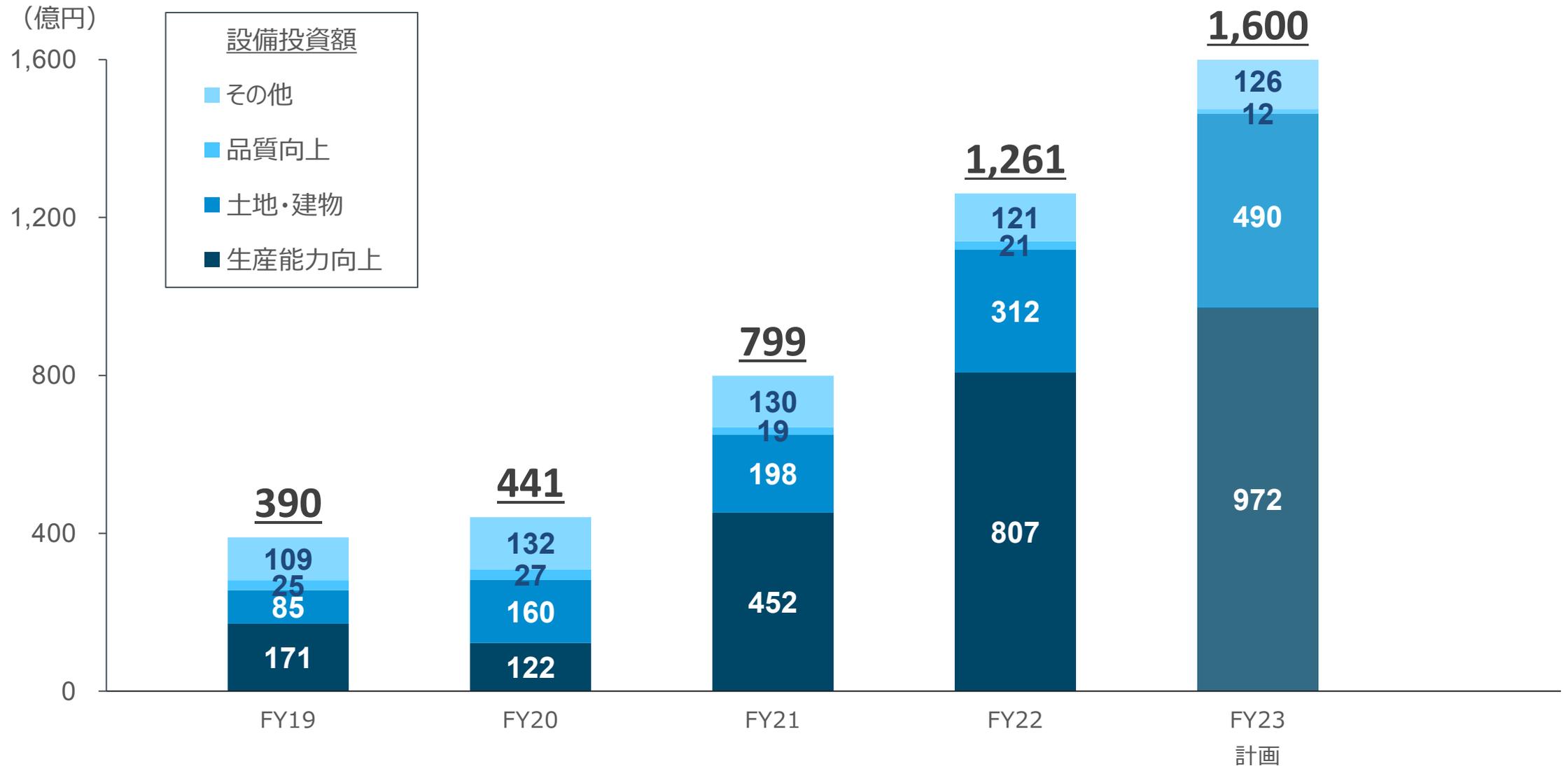
期中平均レート (¥/US\$) **(134.95円)**

(130.27円)

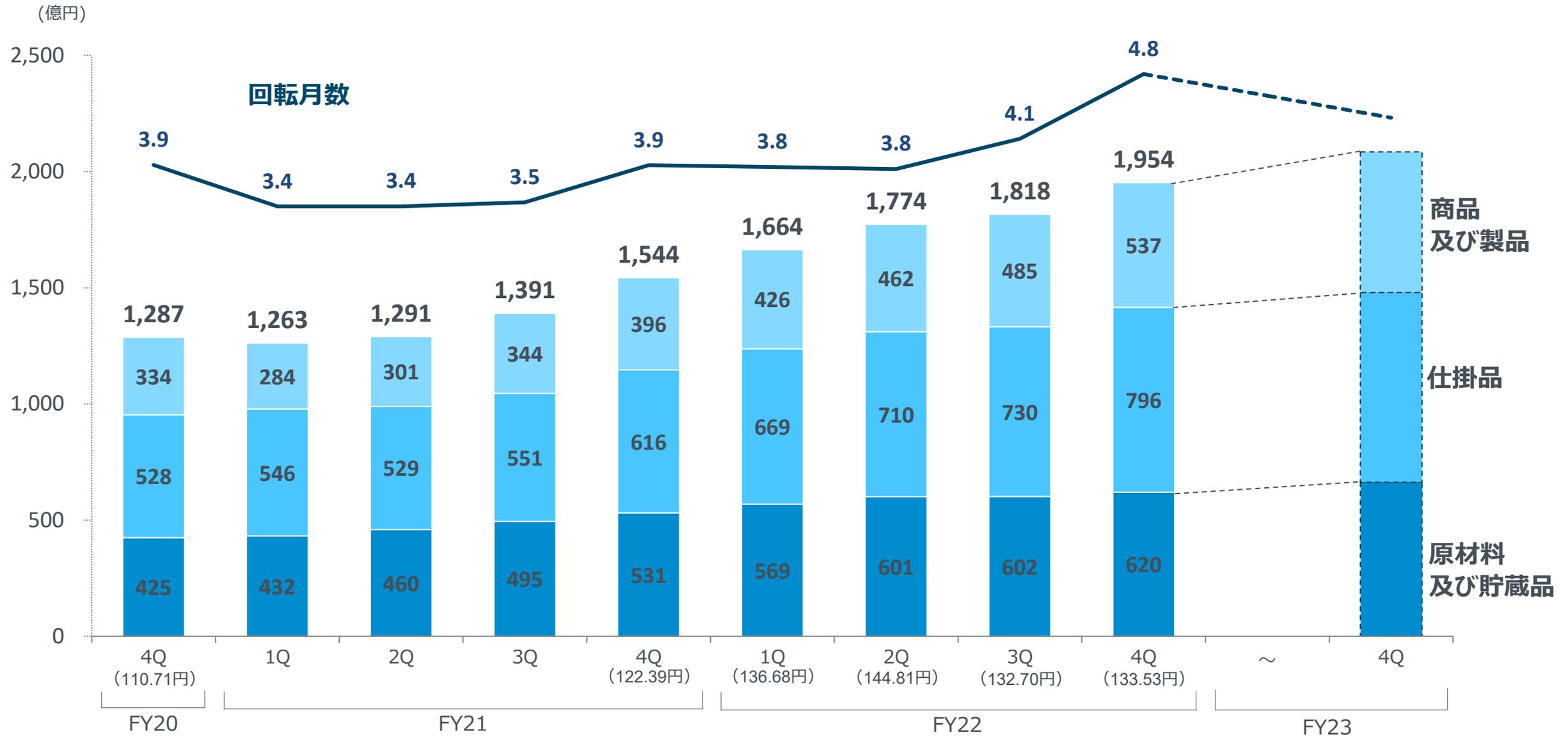
※為替は1USD = 105円で換算



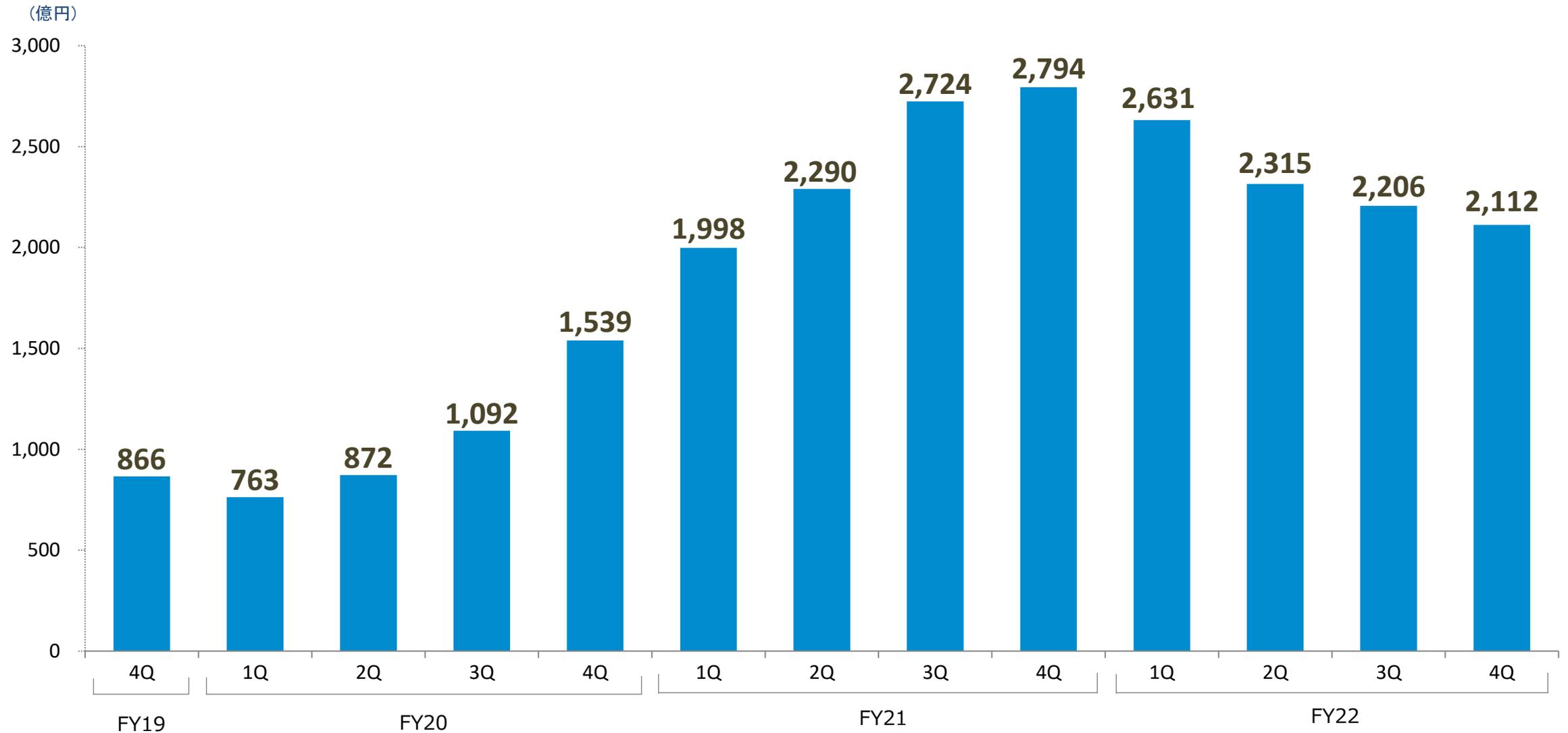
設備投資の状況



在庫の状況 (金額)

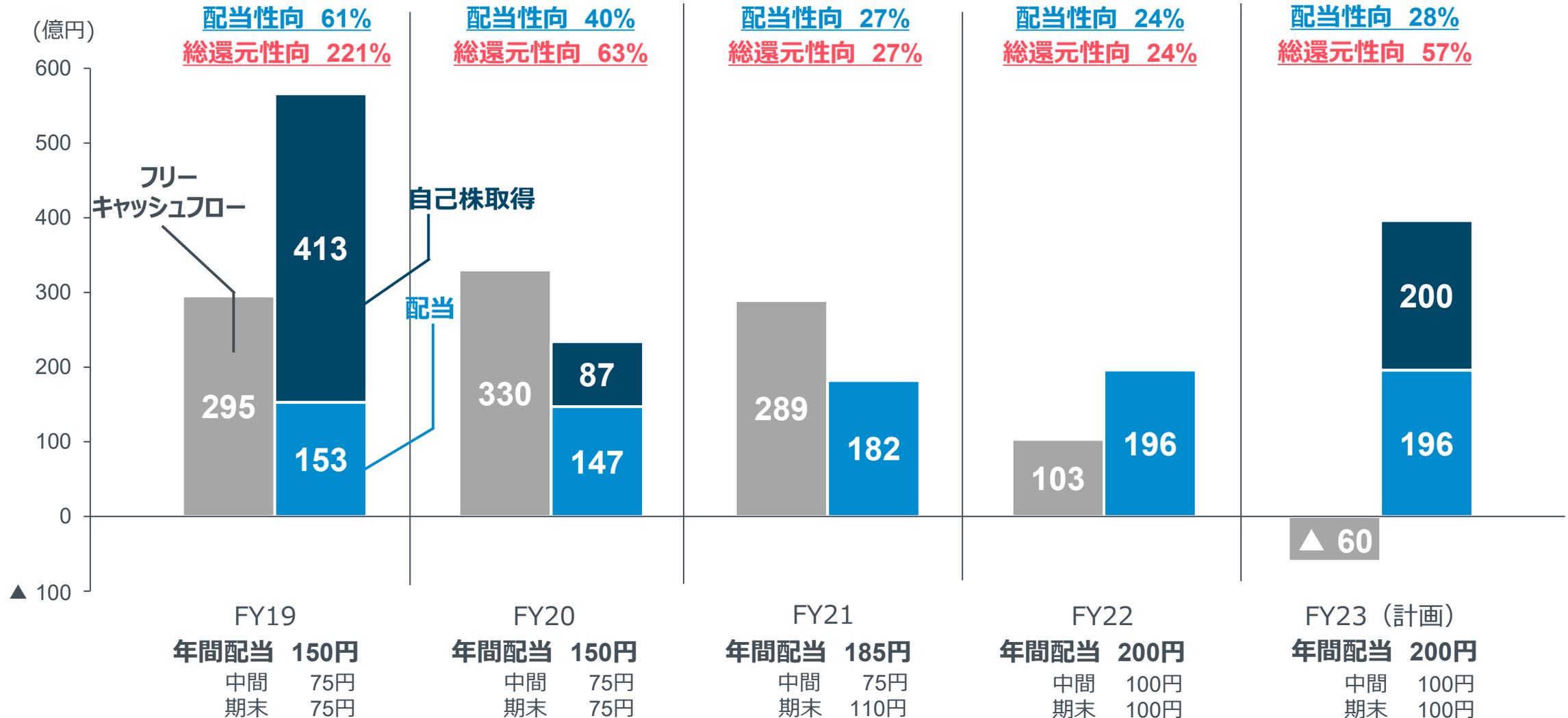


受注残高の推移



* FY22は為替110円で換算

株主還元の推移



*フリーキャッシュフロー：純利益 + 減価償却費 - 設備投資

中期経営計画(MOVING FORWARD to 2025)

2021年度～2025年度

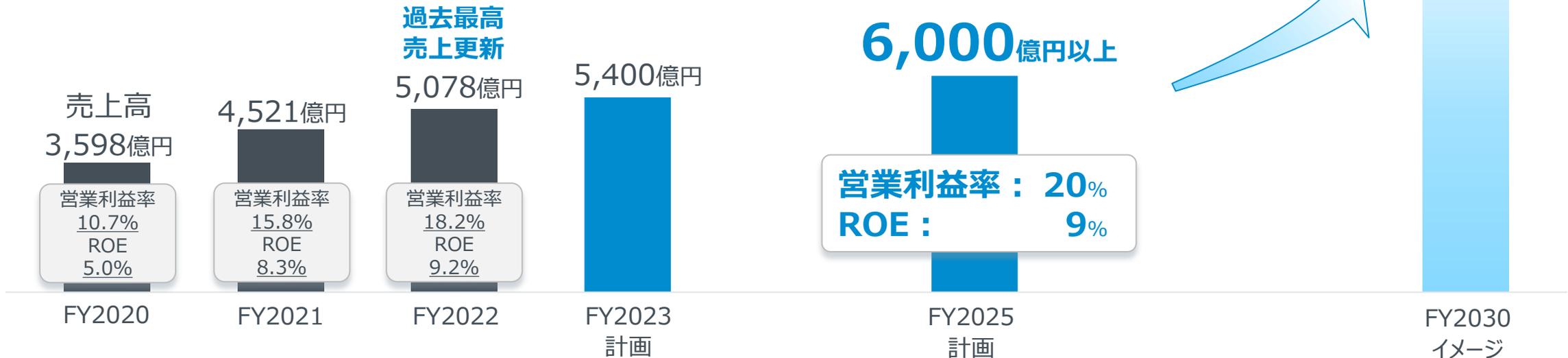
2030年度

"車載" "海外" での成長実現と更なる成長に向けた基盤作り

グローバルメジャーへ

- 成長軌道へ戻す5年
- 電動車市場でグローバルトップシェア商品の確立 (SiC、絶縁ゲートドライバ)
- 海外売上比率 **50%以上**
- 収益体質の強化 (高付加価値商品による単価アップと生産効率の更なる向上)
- グローバルで戦える営業・開発体制の確立

パワー・アナログ分野で世界Top10
全社売上1兆円を目指す



財務目標

売上高 **6,000**億円以上

営業利益率 **20%**以上

ROE **9%**以上

非財務目標 (抜粋)

環境 (2030年度)

- 温室効果ガス排出量**50.5%**削減 (2018年度比)
- 再生可能エネルギー
2050年度導入比率100%へ向け推進
- 廃棄物ゼロエミッション化

ダイバーシティ、従業員

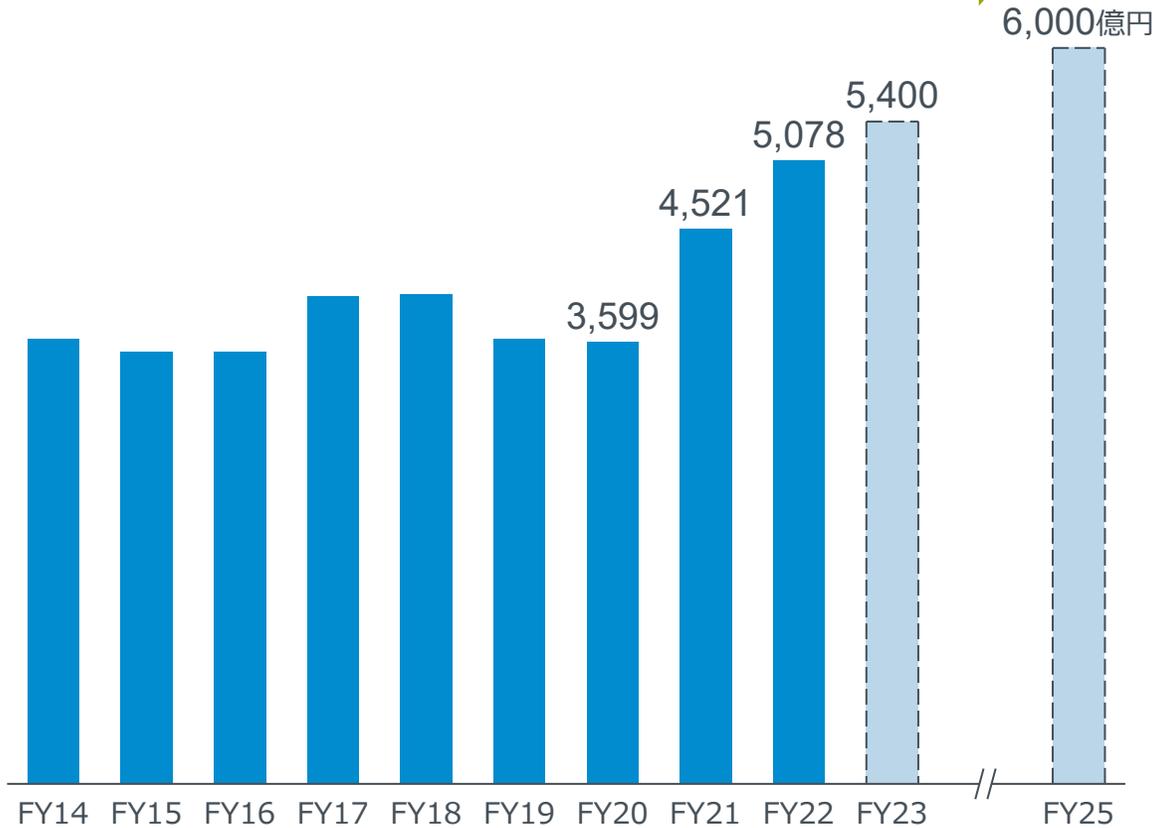
- グローバル女性管理職比率15%
- 従業員エンゲージメントスコア業界平均以上

お客様

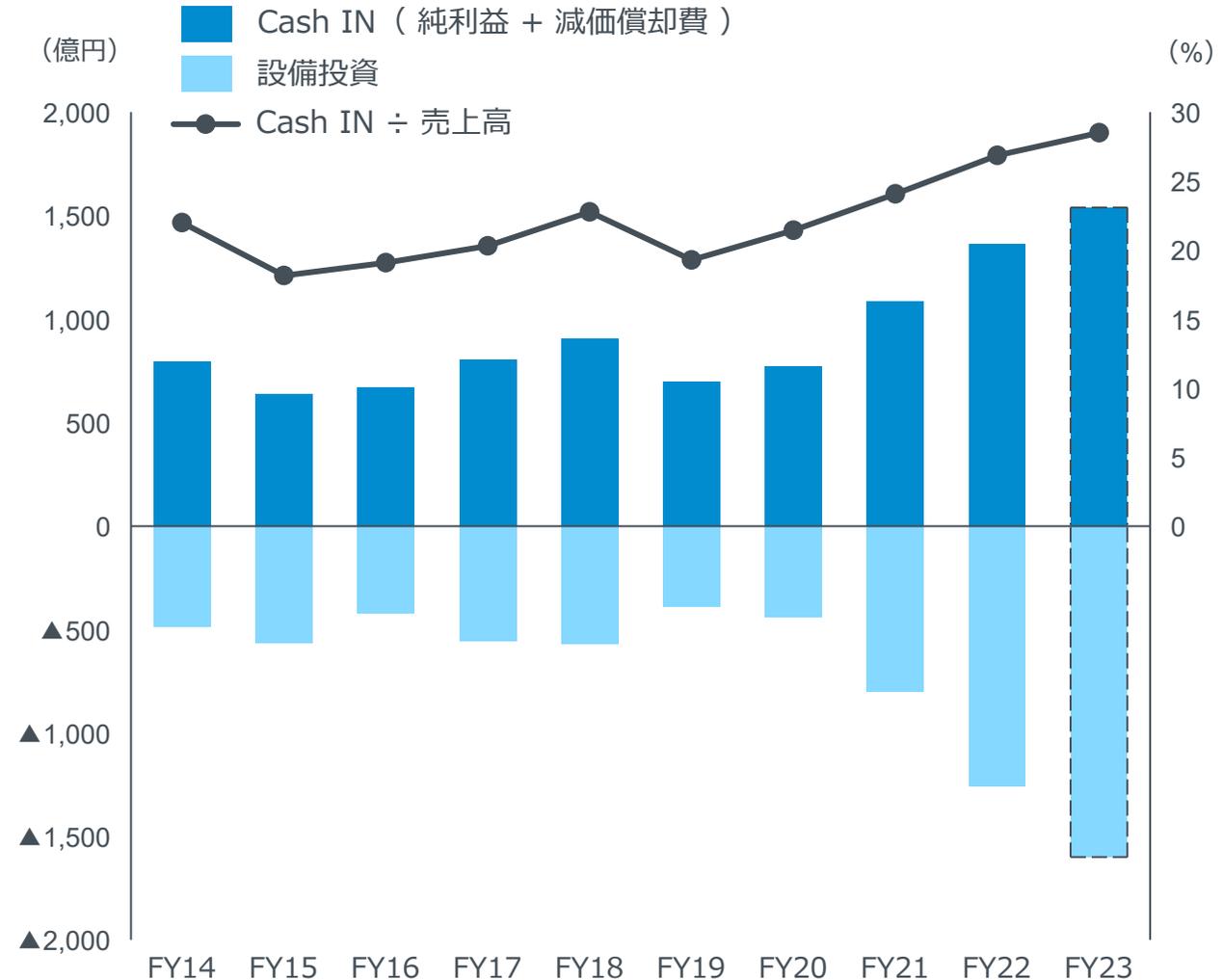
品質満足度スコア+10%改善 (2020年度比)

売上

中期経営計画
MOVING FORWARD
to 2025



資金収支

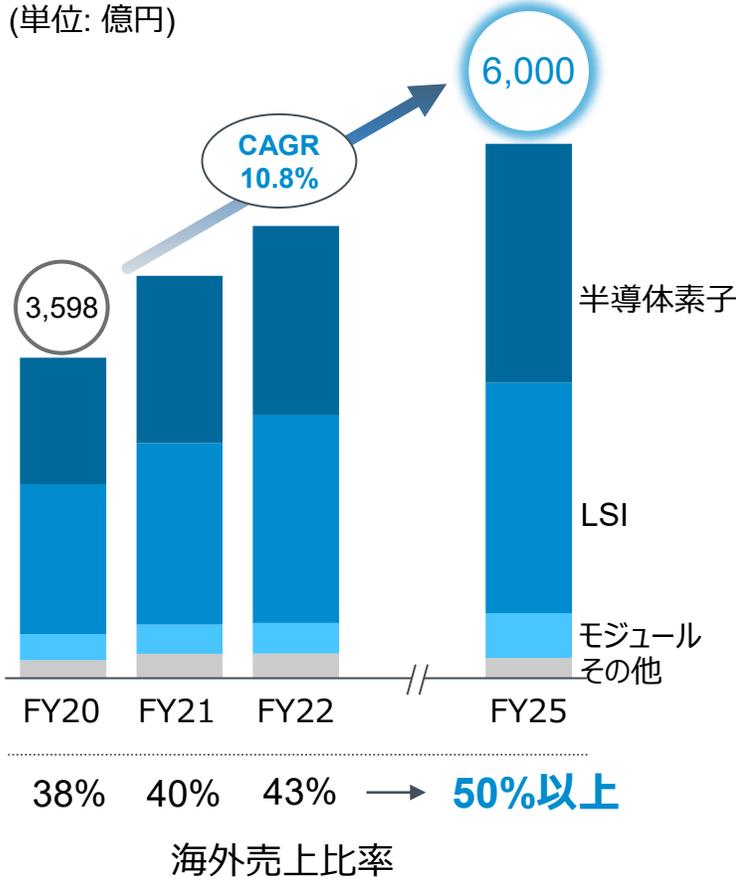


中期経営計画における全社の成長方針

パワーとアナログで車載と海外を中心に大きく伸ばす (方針変更なし)

中期経営計画の売上計画

(単位: 億円)



各事業の成長方針

伸ばす

成長の核となる事業で売上を大きく伸ばす

進化する

高付加価値化や海外シフト等質的変換を図る

創る

2025年度以降の成長の種を新たに仕込む

車載



産機



民生

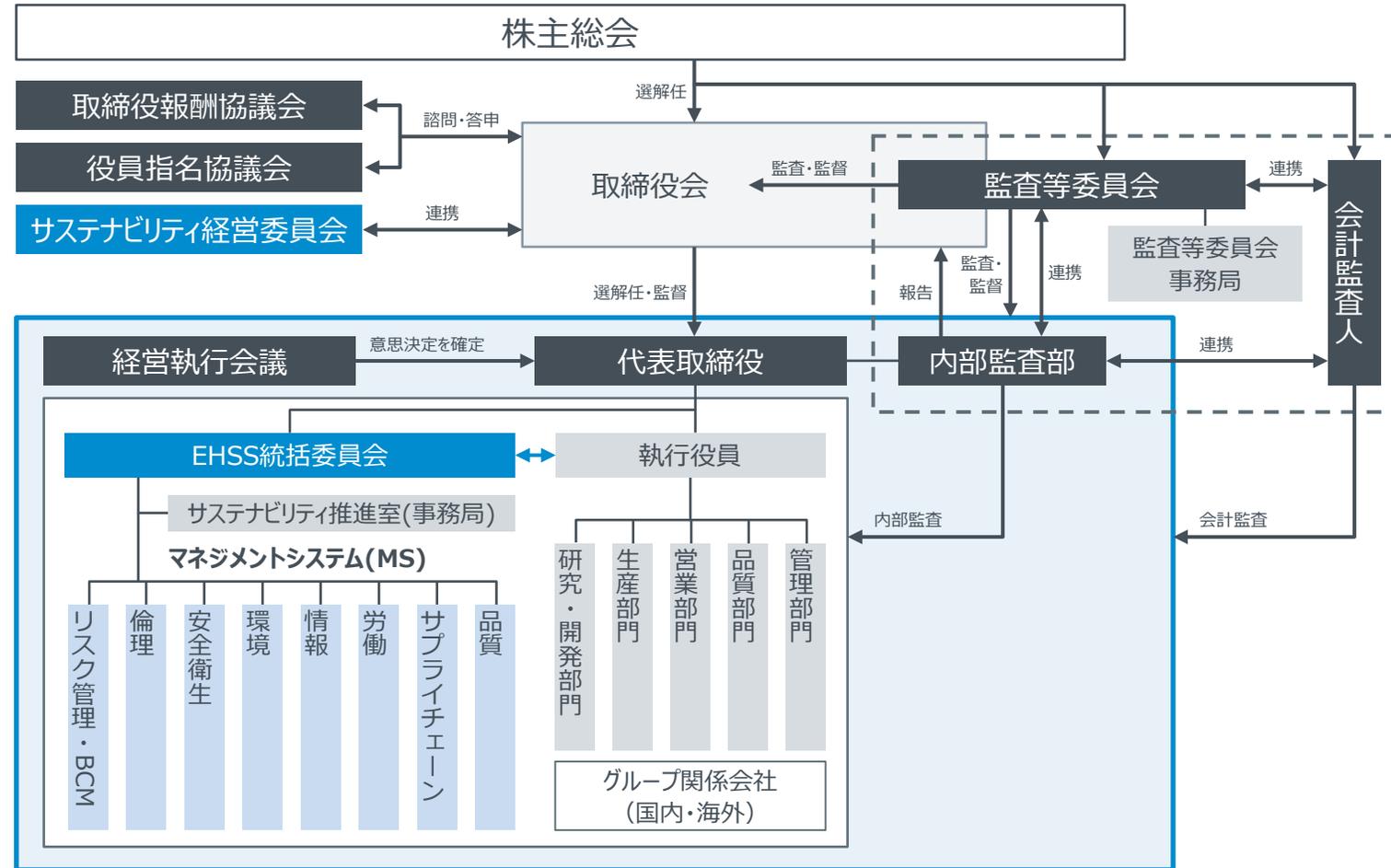


事業	成長方針
半導体素子	パワーデバイス <ul style="list-style-type: none"> 伸ばす: SiC-MOS第4世代シェア拡大, Si-MOS第6世代 5G/6Gサーバー・基地局参入 進化: EV主機インバータ向けSiCパワーモジュール開発, 電動車主機インバータ向けIGBTデバイス開発
	小信号デバイス <ul style="list-style-type: none"> 進化: 小型化による高付加価値化とキャッシュカウ事業としてトップシェアの維持, 需要変動に対応できる生産体制構築
LSI	<ul style="list-style-type: none"> 伸ばす: 電動車向け商品強化, 海外車載参入拡大, 絶縁ゲートドライバ, 電源LSI (PMIC), LEDドライバ 進化: 基地局/データセンター向け新商品開発
モジュールその他	<ul style="list-style-type: none"> 進化: 自動運転支援モジュールやセキュリティ(認証)向けのセンシングデバイスに注力
民生	<ul style="list-style-type: none"> 進化: 省エネ家電向け高効率商品を拡大、海外展開加速 (IGBT, FRD, Si-MOS) 進化: 小型化・高効率商品で民生売上を維持 (省エネ家電向け IPM, ACDC)

サステナビリティマネジメント推進体制

- 経営と執行の役割を明確に分離し、意思決定の迅速化と監督機能を強化
- 経営側「サステナビリティ経営委員会」、執行側「EHSS統括委員会」を新設
- 8つのマネジメントシステムで、課題・リスクを網羅し、長期目標の達成に向け、改善に取り組む

マネジメントシステム：
 リスク管理・BCM、倫理、安全衛生、環境、情報、労働、サプライチェーン、品質





- 「環境ビジョン2050」の達成に向け、年度目標を着実に実行
- 再生可能エネルギーの積極導入など環境負荷軽減への取り組みを加速

2022年度 トピックス

- RE100加盟
- TCFDフレームワークに基づく開示
- 行政との連携協定

RE100

TCFD | TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

SDGs重要課題（マテリアリティ）	項目	2030年度へ向けた目標	2022年度
<p>気候変動 温室効果ガス排出量 実質ゼロ</p>	温室効果ガス削減	排出量を2030年度に 2018年度比50.5%削減 排出量原単位を2030年度に2018年度比45%削減	○
	再生可能エネルギーの導入促進	2050年度に導入比率100%を目指し、再生可能エネルギー化を推進	○
<p>資源循環 ゼロエミッション</p>	資源の削減	水の回収・再利用率を 2030年度に2019年度比5.5%以上向上	○
	廃棄物量の削減	2030年度に廃棄物のゼロエミッション化	○
<p>自然共生 自然サイクルと 事業活動の調和</p>	緑化の促進	各拠点において工場緑化を促進 地域ごとに生息している生物の保全状況を改善	○
	化学物質管理の徹底	化学物質に関する世界各国の政策・規制への対応・管理の徹底、化学物質の使用量削減	○

2023年度 再生可能エネルギー 主な導入拠点（生産関連）



SiCrystal (ドイツ)



ローム・アポコ (福岡・筑後)



RIST (タイ)

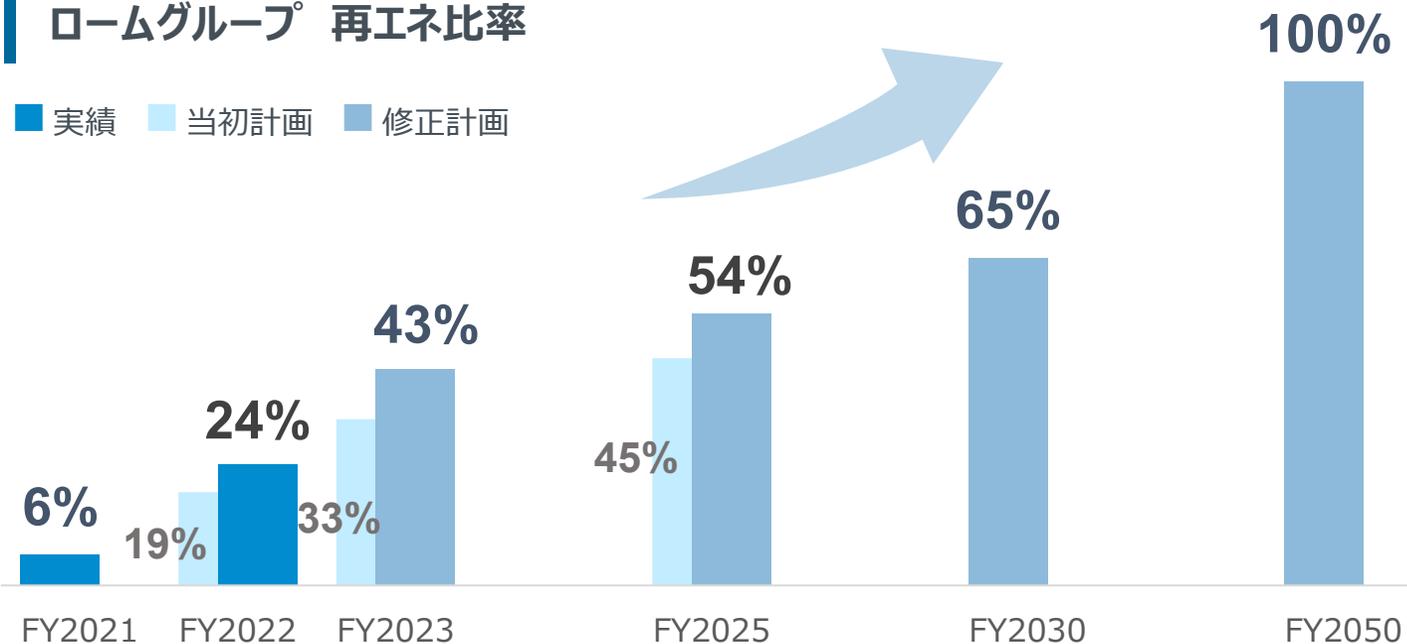


REPI (フィリピン)

NEW

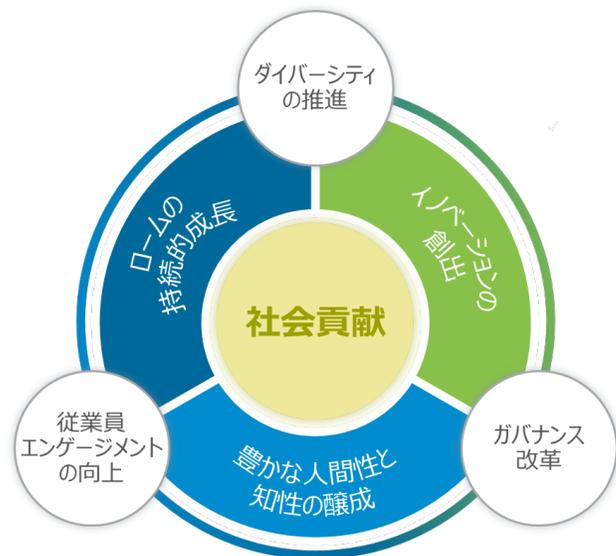
ロームグループ 再エネ比率

■実績 ■当初計画 ■修正計画



2050年度 100%に向け、
計画を前倒しで進行中

- 豊かな人間性と知性を磨いた多様な社員が、高いエンゲージメントを維持し、継続的にイノベーションを創出
- 実効性のあるガバナンス改革と併せ、企業の持続的な成長を実現



●ダイバーシティの推進

- 女性のキャリア形成促進
- 女性、外国人のマネジメント層への登用

2025年度目標

- ・グローバル女性管理職比率15%
- ・女性または外国人の本社役員比率10%

2022年度結果

- ・グローバル女性管理職比率
10% → **13%**
 - ・女性または外国人の本社役員比率
9% → **23%**
- 女性取締役比率
9% → **15%**
+
外国人取締役比率
0% → **8%**

●従業員エンゲージメントの向上

- エンゲージメントサーベイの実施
- 組織風土改革、働き方改革推進

2025年度目標

- エンゲージメントスコアで下記を達成
- ・毎年のスコア改善
 - ・業界平均以上
 - ・グループ全体で導入完了

2022年度結果

- ・業界平均以上達成
- ・グループ全体での導入を完了

●ガバナンス改革

- ・独立社外取締役の比率の更なる引き上げ
- ・中期経営計画に連動した報酬制度導入

2022年度結果

- ・独立社外取締役比率
45% → **54%**
- ・業績連動型譲渡制限付株式報酬制度の導入

- 成長投資5年累計5,000億円を**6,000億円へ増額**
- 成長事業への投資を更に加速し、加えて積極的な株主還元を実施する
- 手元資金を5年間で段階的に圧縮し、2025年度には年間売上の50%以下とする

キャッシュアロケーション (中計FY21~FY25 5年累計)



株主還元

- 連結配当性向30%を目安に還元
- 資本効率の改善を目的に自己株式取得を適時実施

成長投資

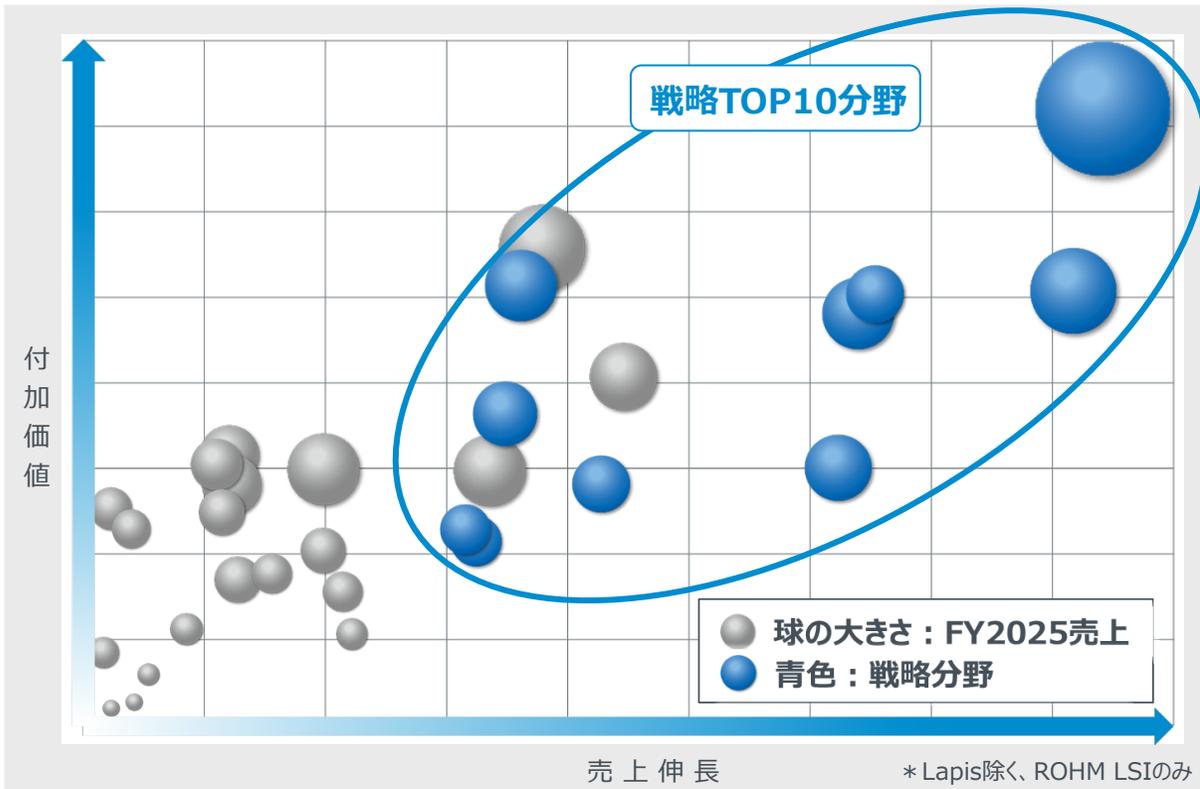
- SiCパワーデバイス 8inch生産能力増強
- LSI 12inch Bi-CDMOS生産ライン増強

ASSP製品においては戦略TOP10分野を開発・サポート拡充

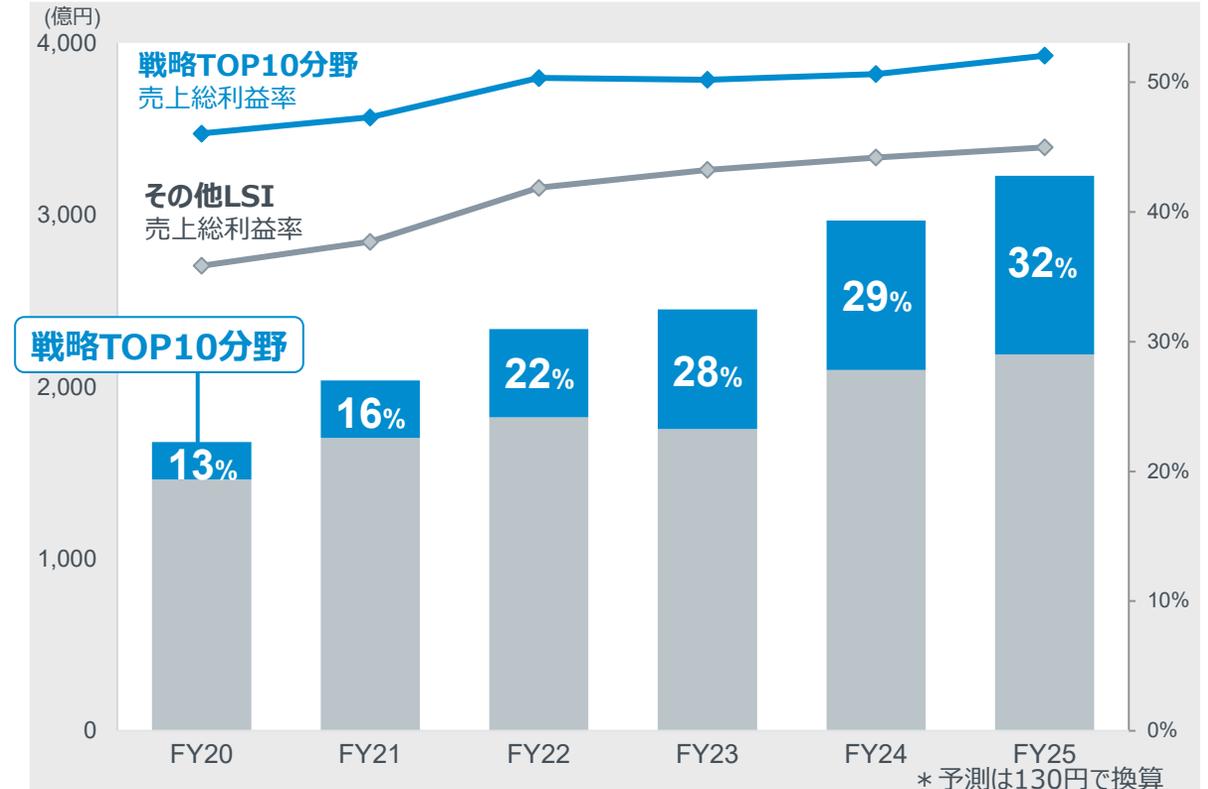
売上伸長・付加価値のあるASSP分野のTOP10を戦略TOP10分野とし、戦略TOP10分野の売上構成比を上げ、売上・利益拡大を図る。



ポートフォリオ (戦略TOP10分野)



売上比率・売上利益率 (戦略TOP10分野)



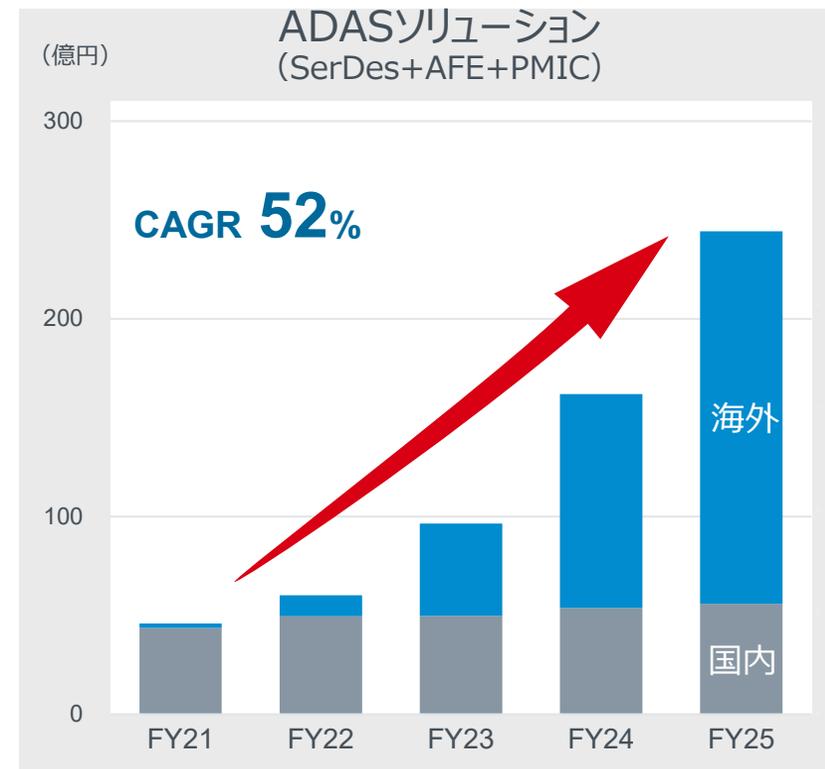
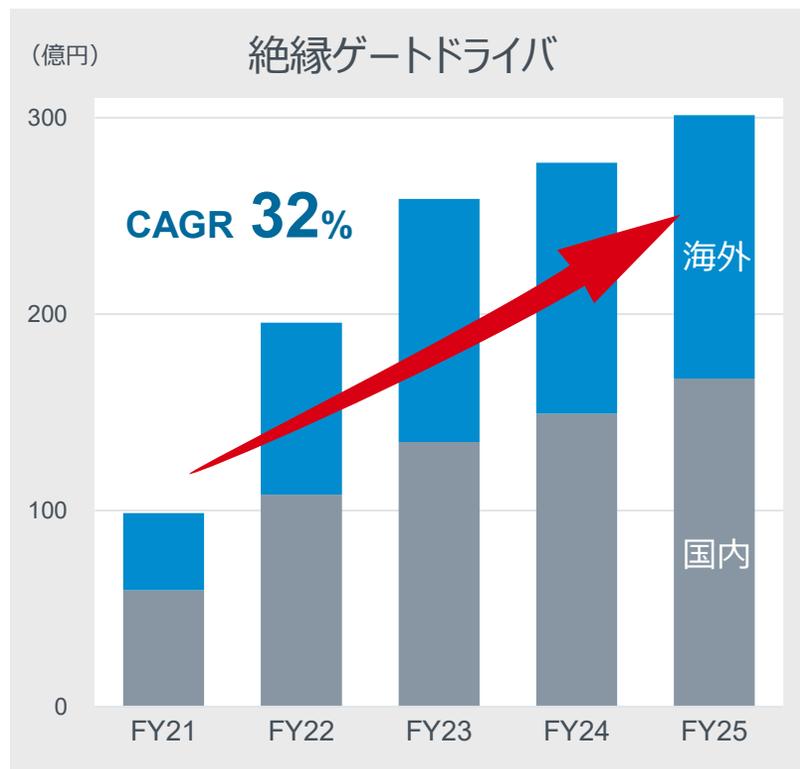
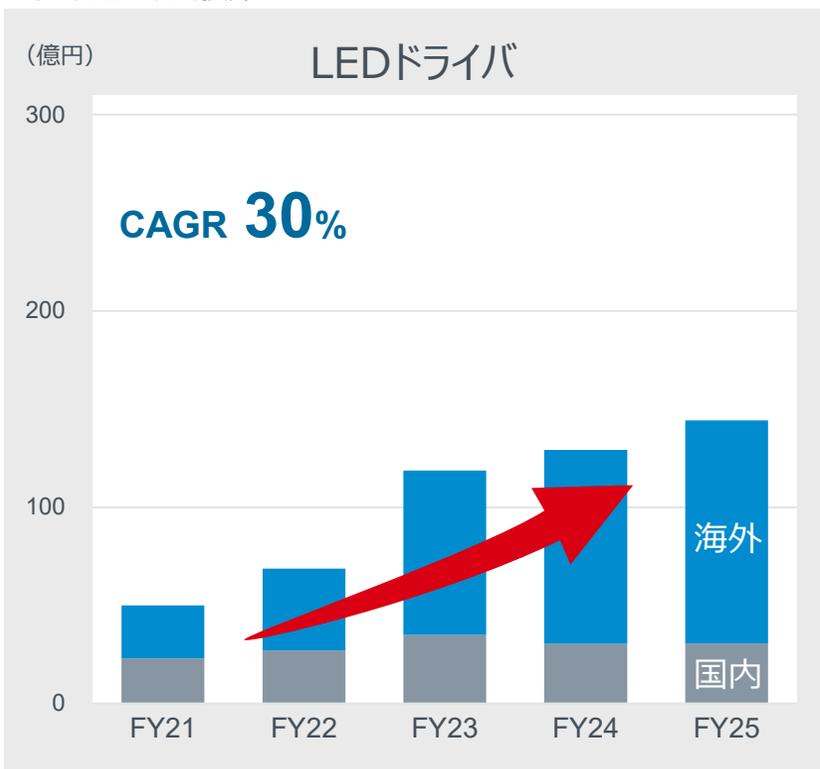
注力分野である車載向けソリューションで売上拡大

電装化・電動化の向上により、更なる成長が期待できる車載向け市場において、付加価値のある製品を継続して投入。

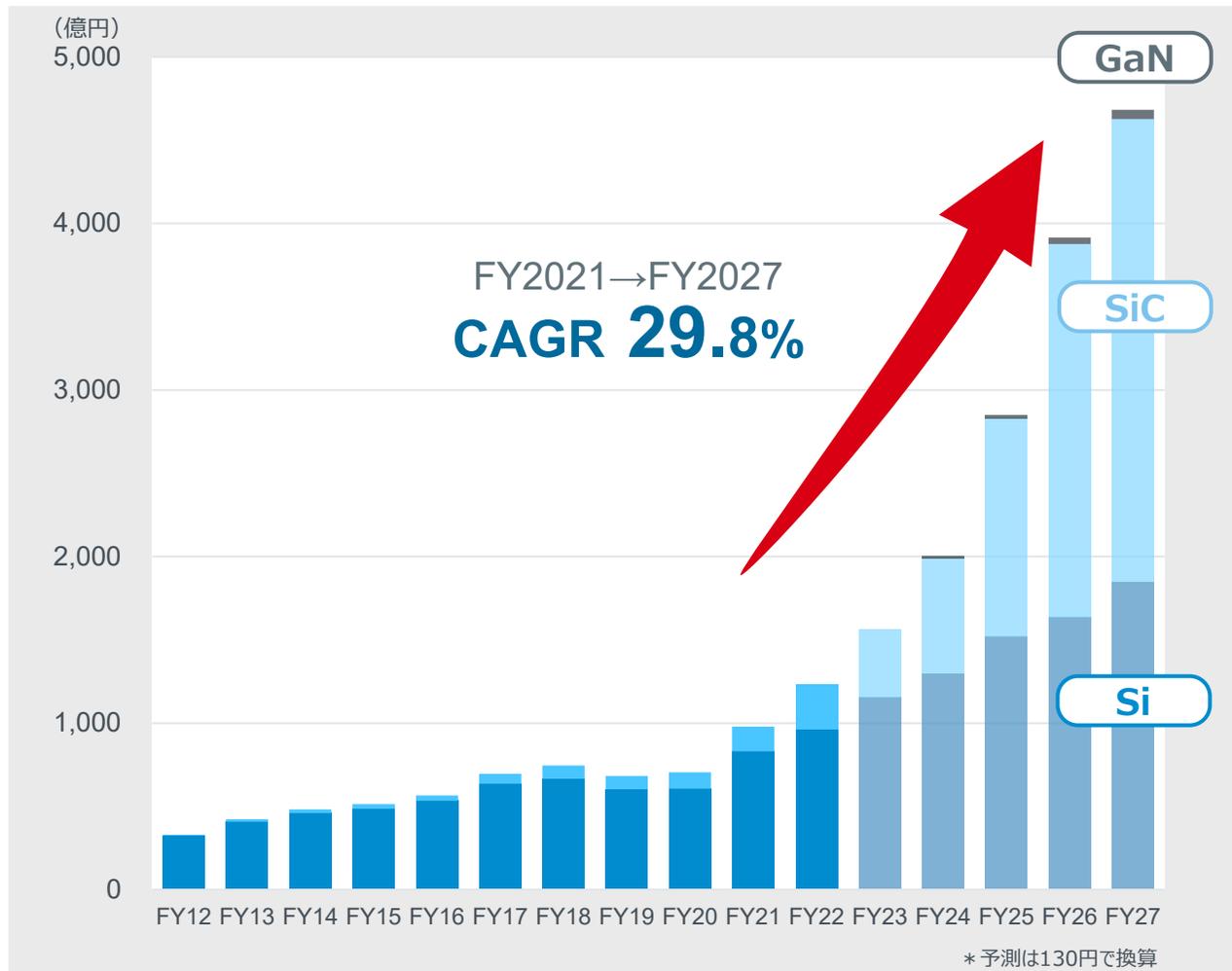
海外顧客向け売上を高め、車載全体の売上規模を拡大。



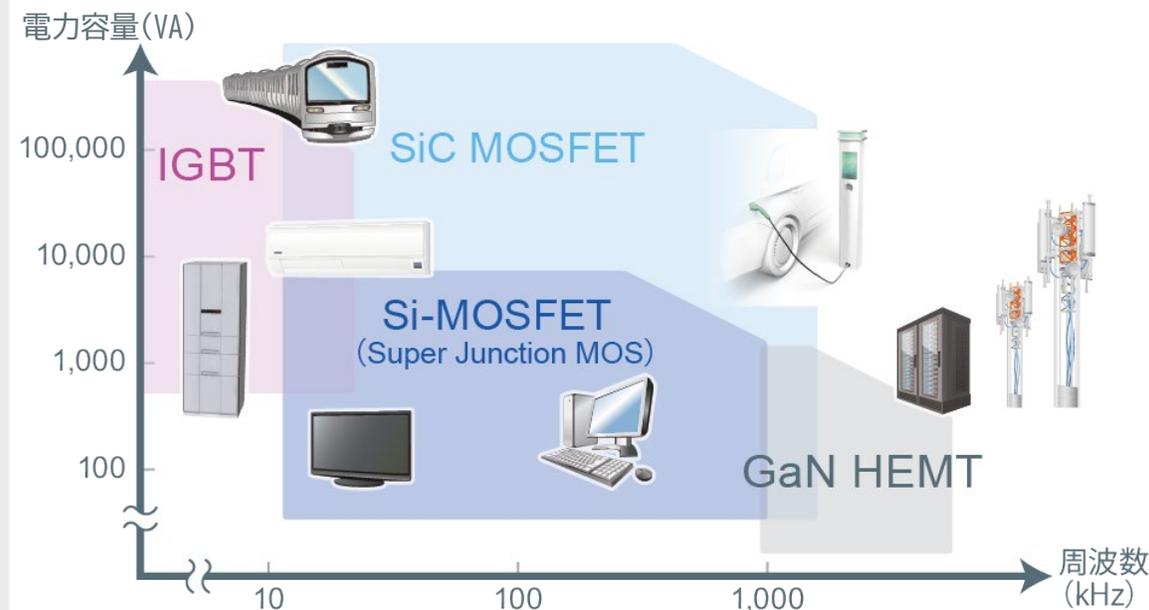
* 予測は130円で換算



パワーデバイス事業の売上目標



パワーデバイスのアプリケーション適用範囲



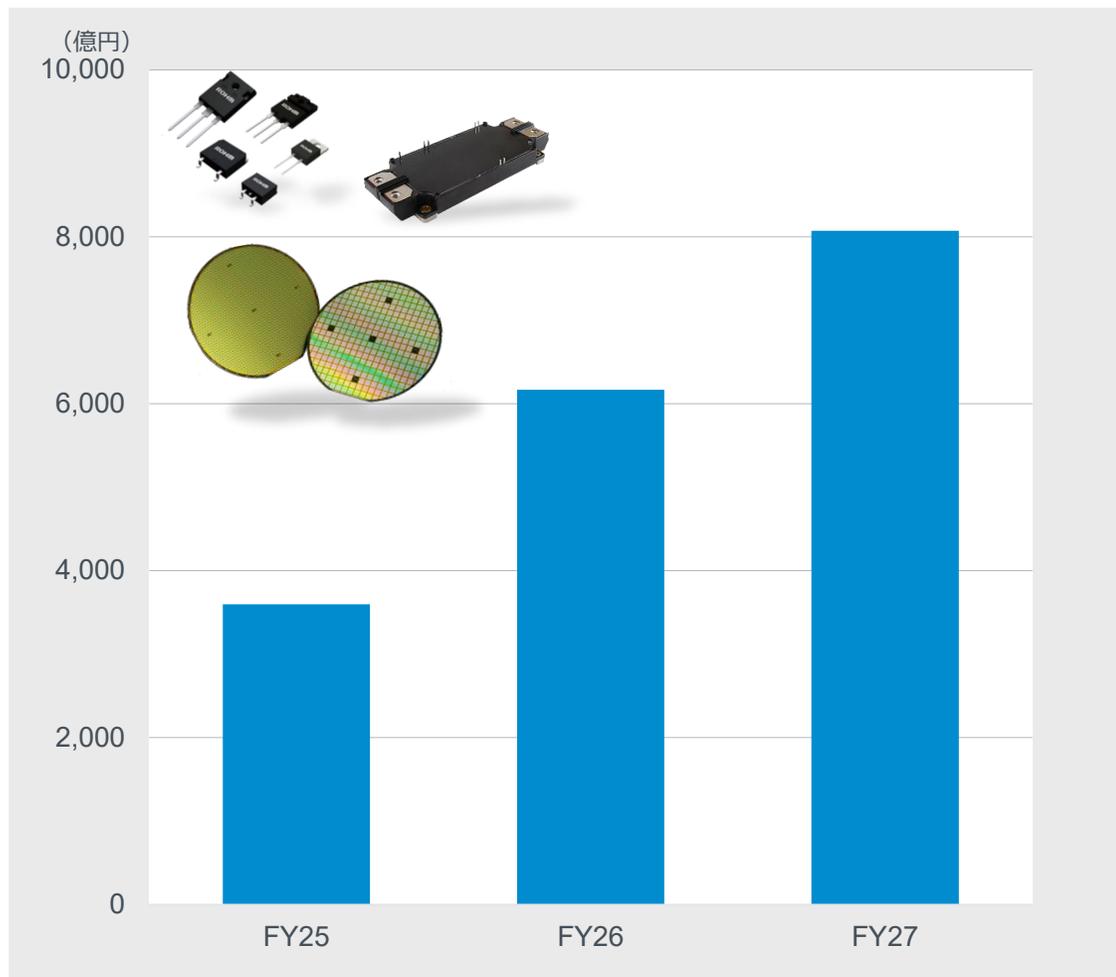
SiC

- 大電力
- 高電圧 (> 600V)
- 高周波 (20~200kHz)

GaN

- 中電力
- 中電圧 (100~600V)
- 高周波 (200kHz以上)

SiC事業のパイプライン

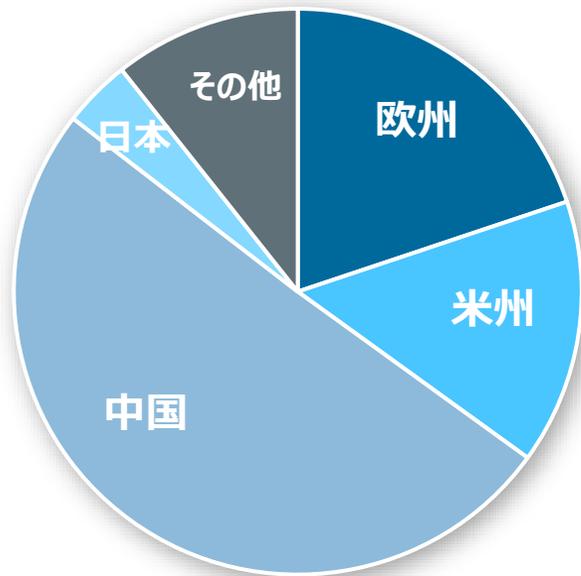


SiC事業の目標



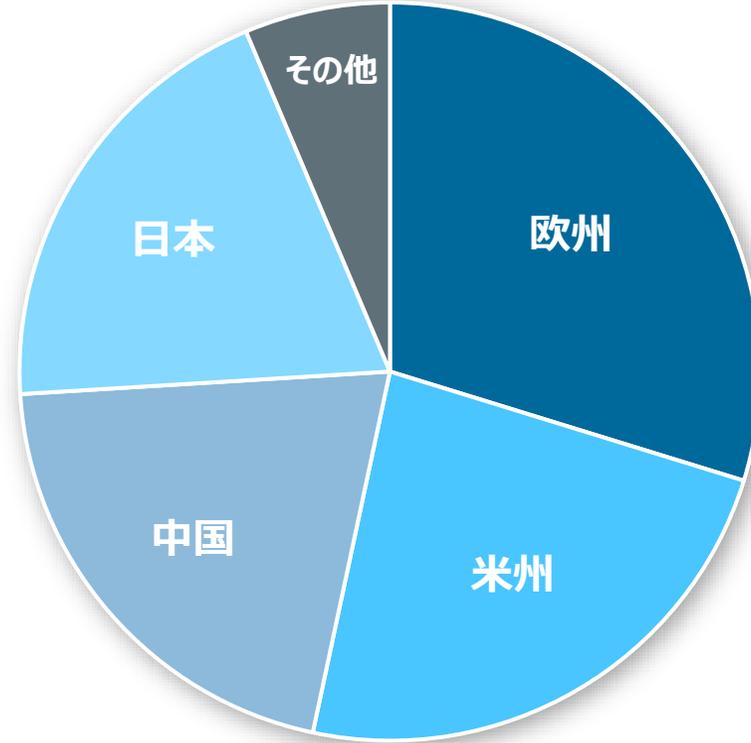
FY2023～FY2025 累計

6,300 億円

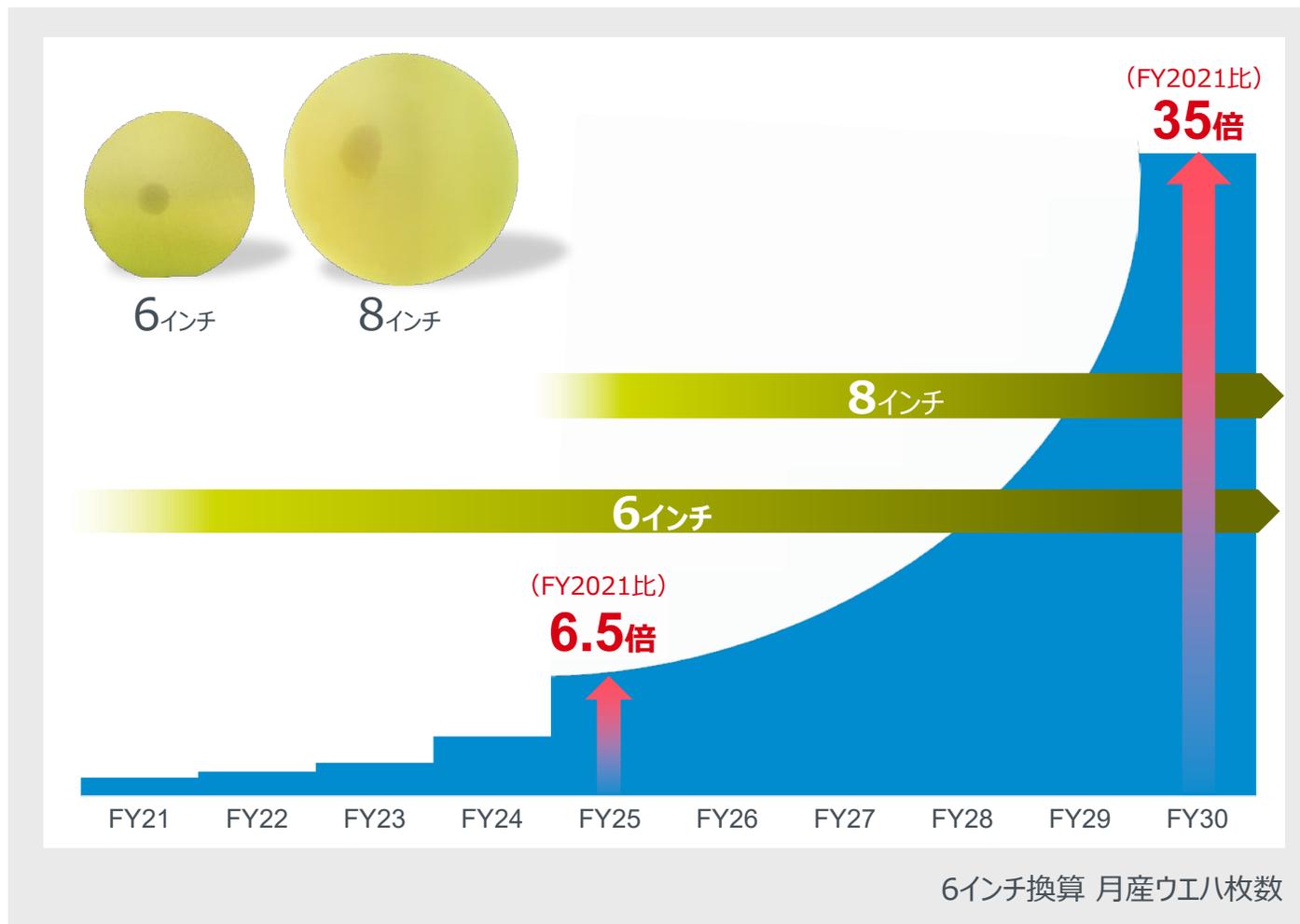


FY2025～FY2027 累計

17,800 億円



SiC事業のキャパシティ増強計画



未定

4th FAB

計画中

NEW

筑後

3rd FAB

- ・2022年12月より量産開始
- ・6インチウエハから8インチウエハへの変換が可能な設備を導入



宮崎

2nd FAB

- ・2021年より第4世代 SiC-MOSFETの量産開始



<ご注意事項>

1. 当資料は投資分析を目的として作成しておりますので、投資分析にのみご使用ください。
2. 2023年度通期の予想は、現時点で得られた情報にもとづいております。従って、業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。

<お問い合わせ先>

ローム株式会社 IR室
〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
E-mail : ir@rohm.co.jp



Electronics for the Future